



2026年7月24日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
15,700万kW
14時、157,000 MW（10
エリア同時刻合計）

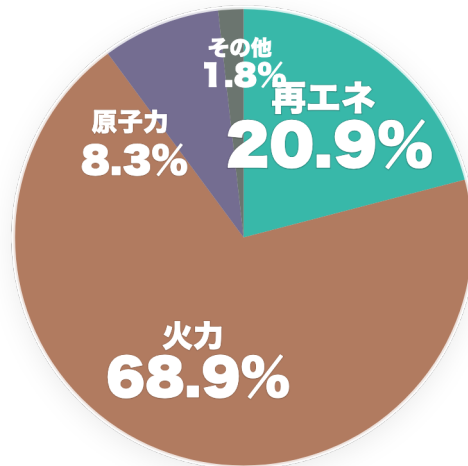
≈ 風力ピーク
102万kW
23時30分、1,017 MW

↔ 最大受電エリア
東京
113 GWh

☀ 太陽光ピーク
4,378万kW
11時30分、43,783
MW（自家消費分除く）

◇ 再エネ最大需要
比
36.5%
12時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
84.9 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 42.4%
38.0 GWh

揚水・蓄電の充電

69.0 GWh
発電構成比には含めない

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:00に5,170万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで42.4%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	20.9%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	641 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	3,064 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	36.5%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	69.0 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	42.4%	38.0	0.0	送電 8.5
東北	22.3%	70.6	0.0	送電 84.9
東京	13.1%	116	0.0	受電 113
中部	24.7%	116	0.0	受電 12.2
北陸	31.1%	28.7	0.0	送電 1.4
関西	17.0%	80.3	0.0	受電 65.5
中国	28.0%	59.4	0.0	送電 1.2
四国	24.1%	31.9	0.0	送電 37.1
九州	27.0%	96.6	0.0	送電 38.6
沖縄	10.2%	3.4	0.0	—



2026年7月24日の供給実績

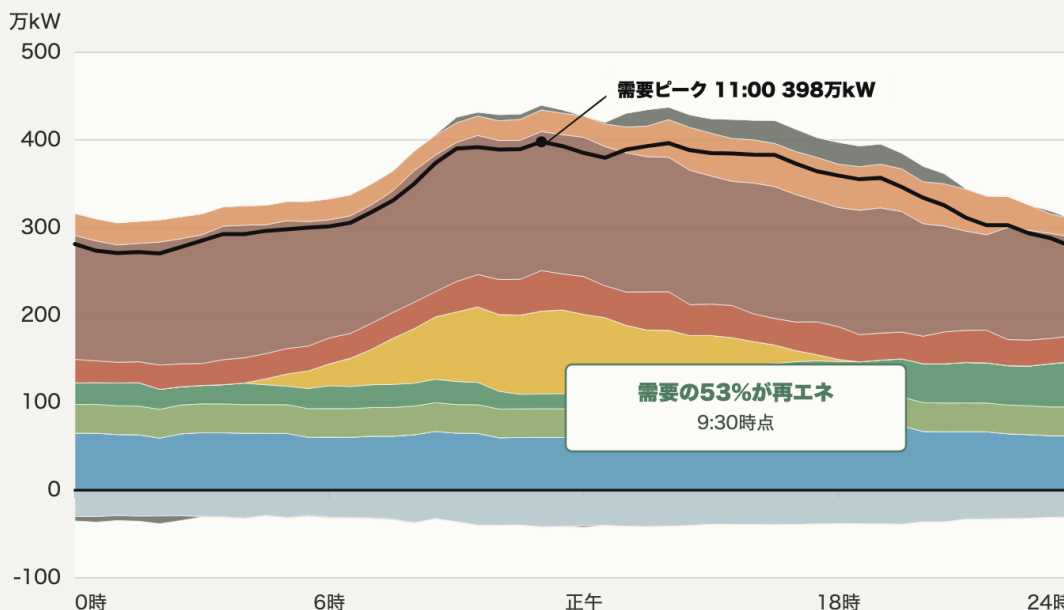
北海道エリア

再エネ

38.0GWh

(発電電力量ベース42.4%)

北海道エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 90GWh
(897万kWh)

再エネ	38.0GWh (42.4%)
太陽光	7.4GWh (8.2%)
水力	15.5GWh (17.3%)
風力	7.2GWh (8.1%)
バイオマス	7.9GWh (8.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	7.9GWh (8.8%)
石炭火力	34.2GWh (38.2%)
石油等火力	7.8GWh (8.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.8GWh (2.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

89.7GWh

需要ピーク

11:00、398万kW

連系線・その他

8.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク96万kW、風力ピーク52万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.4%だった。



2026年7月24日の供給実績

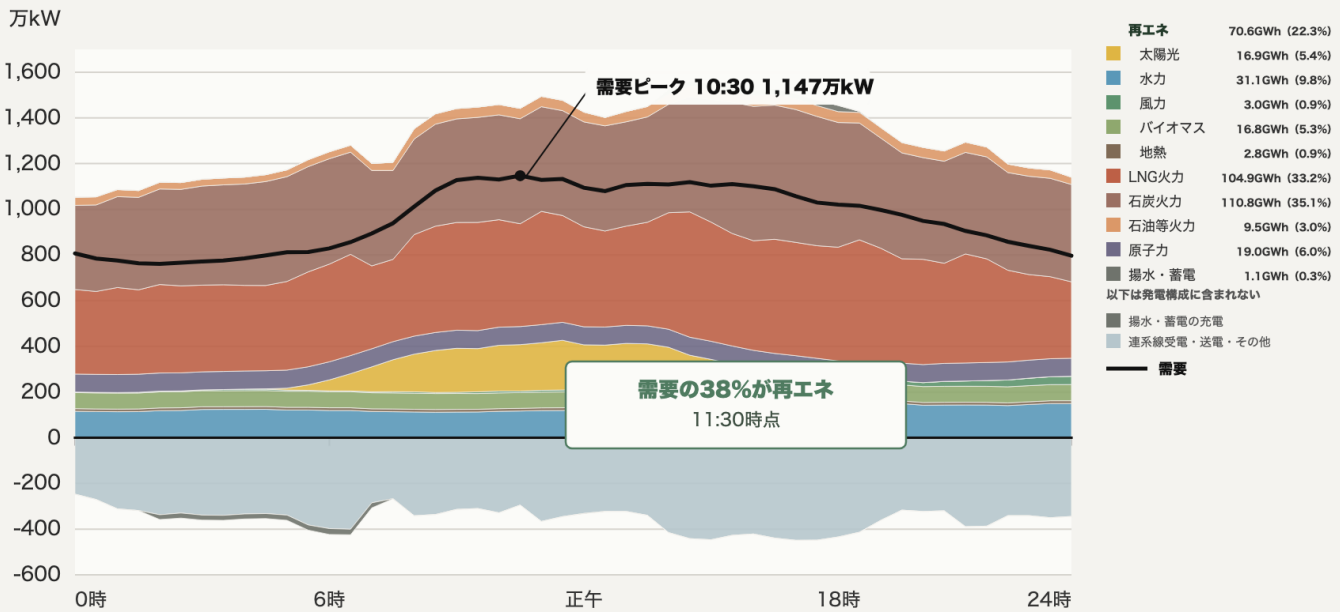
東北エリア

再エネ

70.5GWh

(発電電力量ベース22.3%)

東北エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

315.8GWh

需要ピーク

10:30、1,147万kW

連系線・その他

84.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク218万kW、風力ピーク36万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.7%だった。



2026年7月24日の供給実績

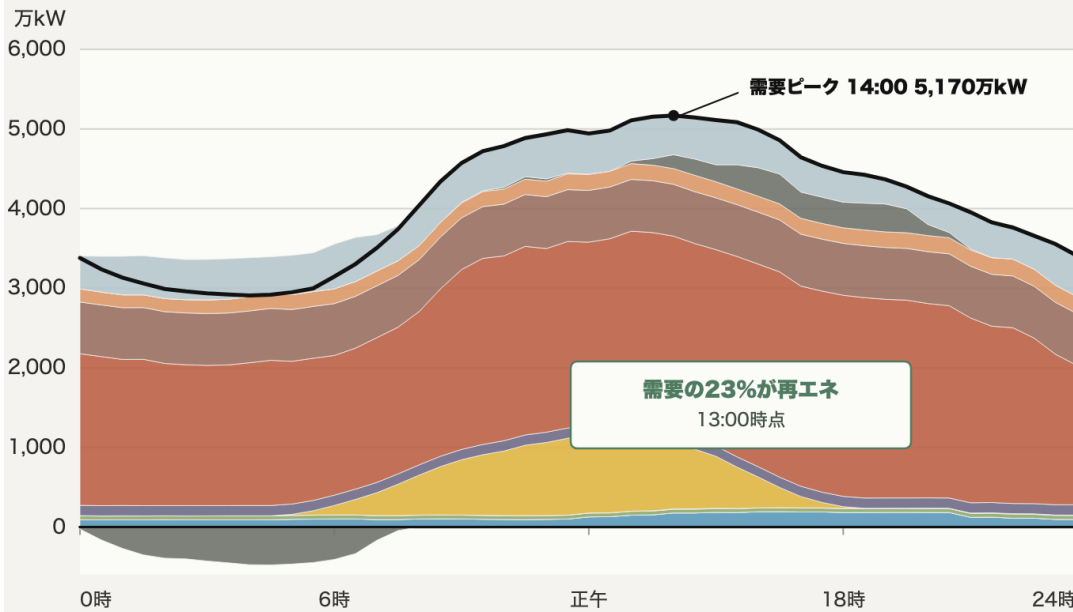
東京エリア

再エネ

116.1GWh

(発電電力量ベース13.1%)

東京エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 888.2GWh
(8,882万kWh)

再エネ	116.1GWh (13.1%)
太陽光	73.3GWh (8.3%)
水力	30.5GWh (3.4%)
風力	0.7GWh (0.1%)
バイオマス	11.5GWh (1.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	519.0GWh (58.4%)
石炭火力	156.2GWh (17.6%)
石油等火力	45.8GWh (5.2%)
原子力	31.0GWh (3.5%)
揚水・蓄電	20.2GWh (2.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

888.2GWh

需要ピーク

14:00、5,170万kW

連系線・その他

113.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

26.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク988万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.4%だった。



2026年7月24日の供給実績

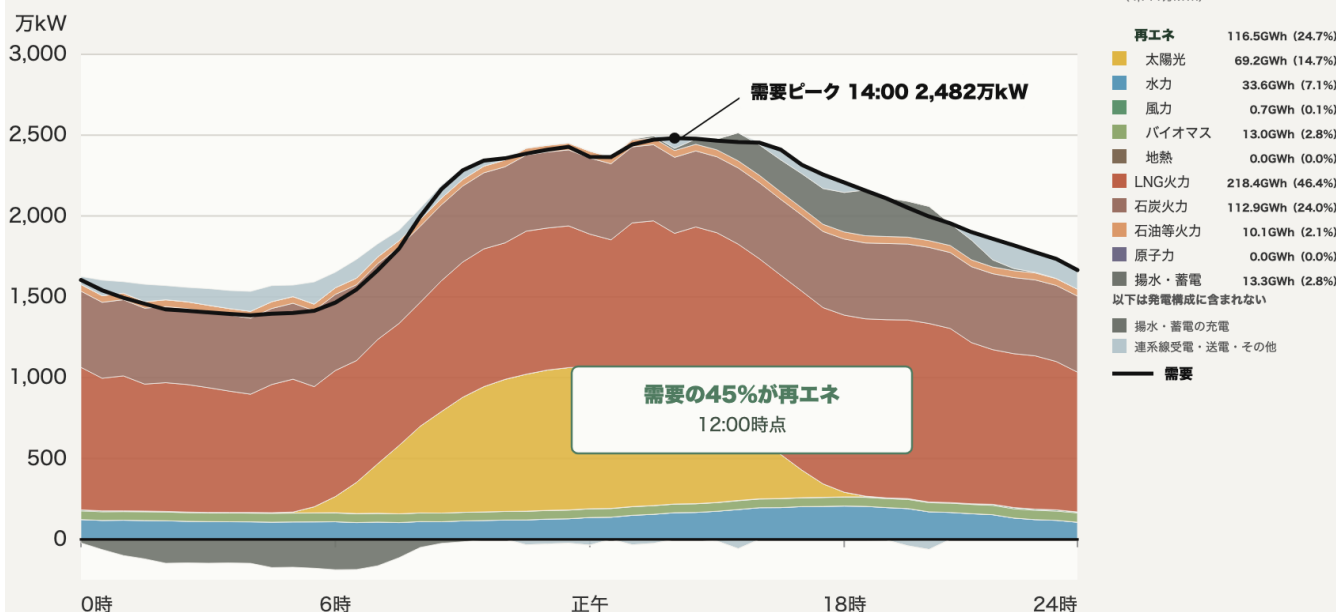
中部エリア

再エネ

116.5GWh

(発電電力量ベース24.7%)

中部エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

471.1GWh

需要ピーク

14:00、2,482万kW

連系線・その他

14.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

11.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク880万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.1%だった。



2026年7月24日の供給実績

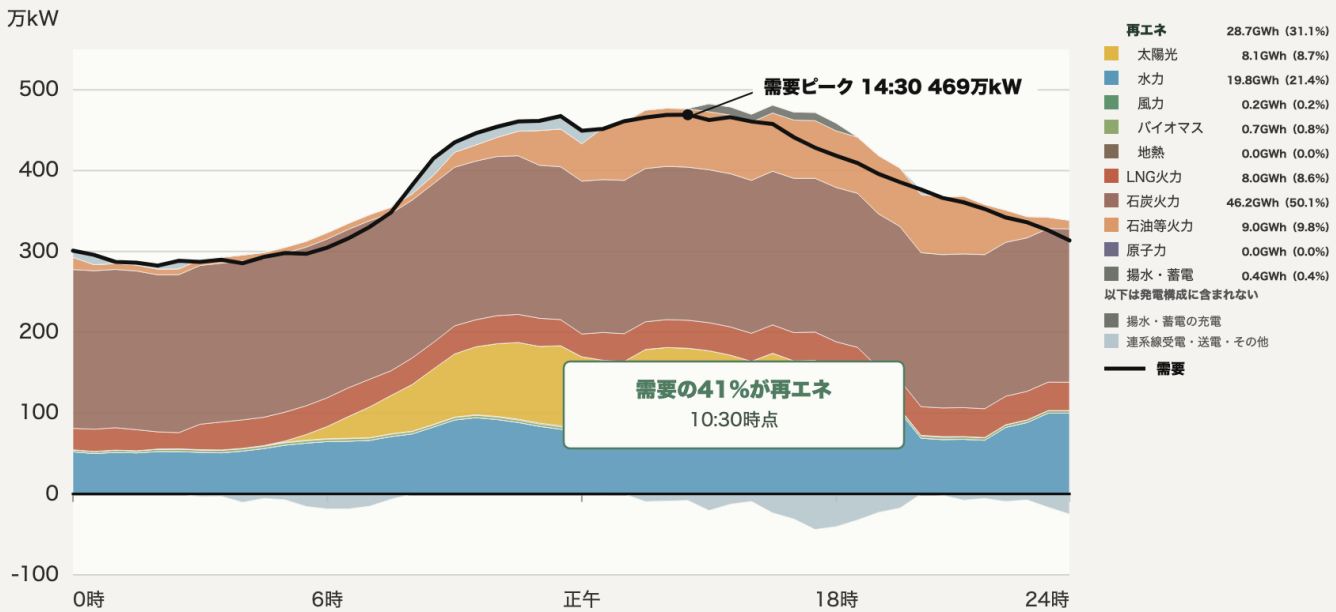
北陸エリア

再エネ

28.7GWh

(発電電力量ベース31.1%)

北陸エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

92.3GWh

需要ピーク

14:30、469万kW

連系線・その他

2.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク99万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.9%だった。



2026年7月24日の供給実績

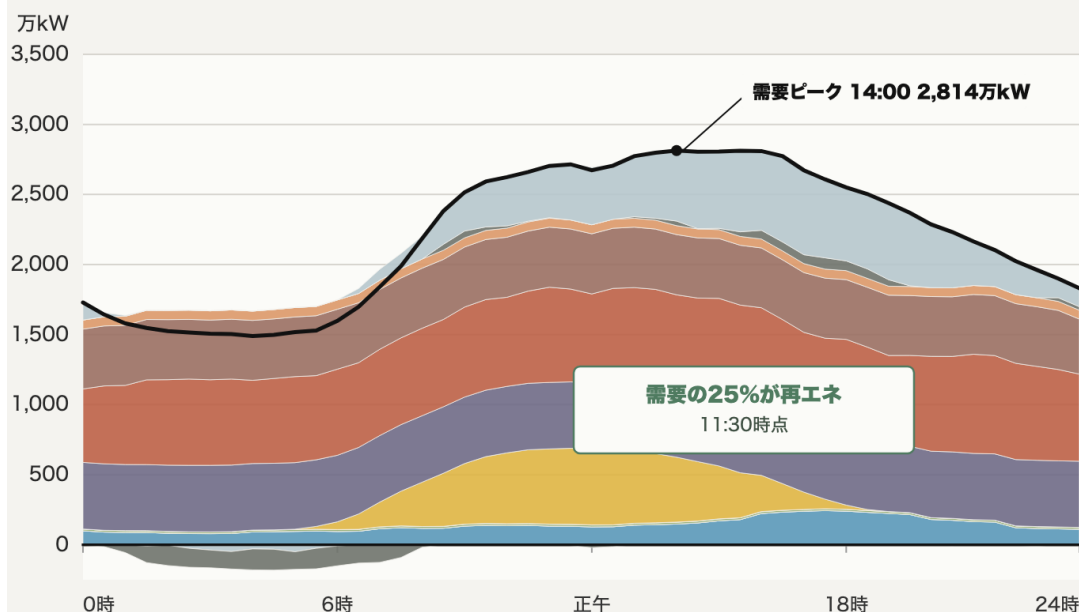
関西エリア

再エネ

80.3GWh

(発電電力量ベース17.0%)

関西エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 471.3GWh
(4,713万kWh)

再エネ	80.3GWh (17.0%)
太陽光	43.4GWh (9.2%)
水力	33.7GWh (7.2%)
風力	0.1GWh (0.0%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	155.6GWh (33.0%)
石炭火力	102.4GWh (21.7%)
石油等火力	15.6GWh (3.3%)
原子力	113.7GWh (24.1%)
揚水・蓄電	3.8GWh (0.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

471.3GWh

需要ピーク

14:00、2,814万kW

連系線・その他

66.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク542万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.6%だった。



2026年7月24日の供給実績

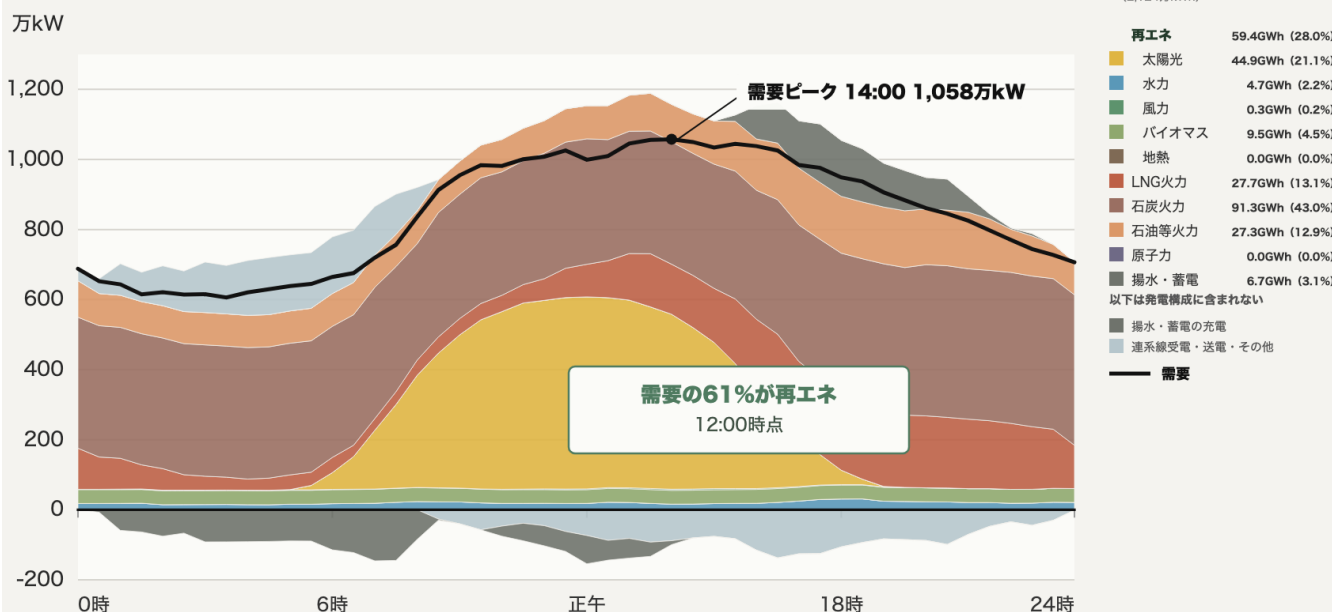
中国エリア

再エネ

59.5GWh

(発電電力量ベース28.0%)

中国エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

212.4GWh

需要ピーク

14:00、1,058万kW

連系線・その他

11.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク548万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.8%だった。



2026年7月24日の供給実績

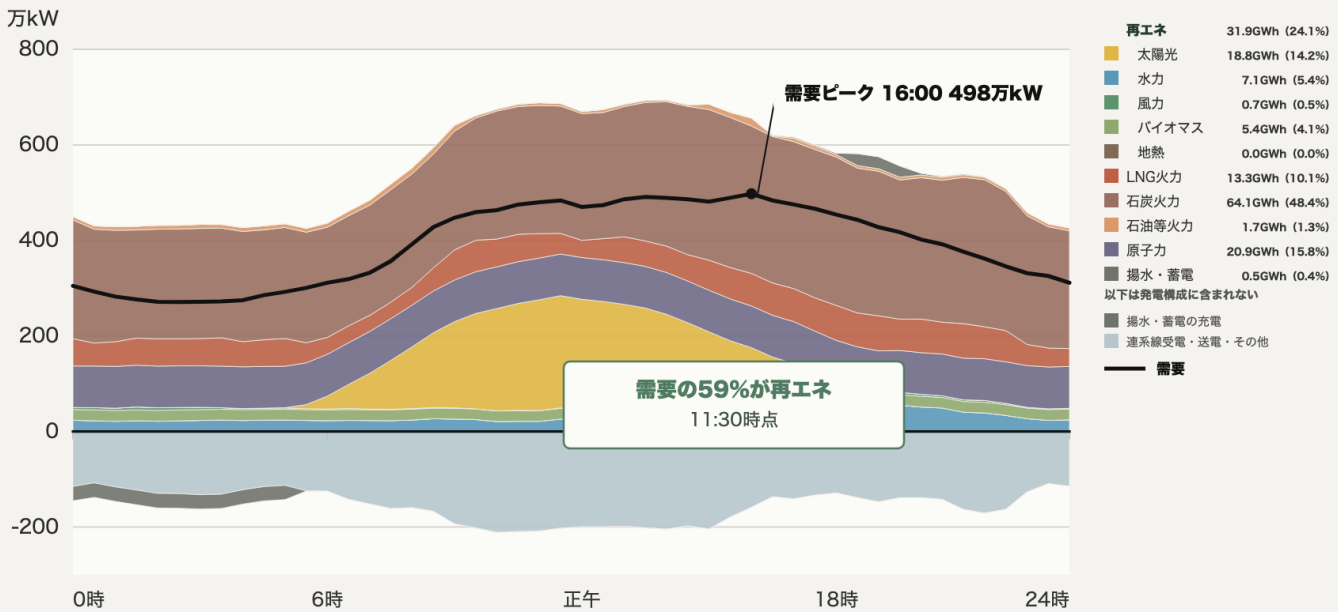
四国エリア

再エネ

31.9GWh

(発電電力量ベース24.1%)

四国エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

132.4GWh

需要ピーク

16:00、498万kW

連系線・その他

37.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク235万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.9%だった。



2026年7月24日の供給実績

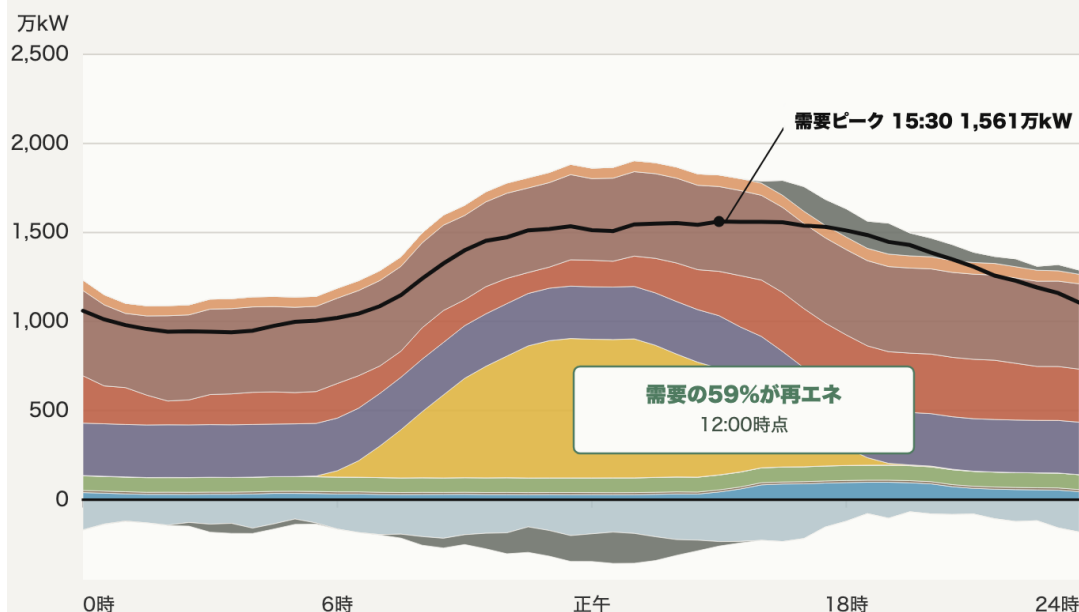
九州エリア

再エネ

96.6GWh

(発電電力量ベース27.0%)

九州エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 357.3GWh
(3,573万kWh)

再エネ	96.6GWh (27.0%)
太陽光	62.5GWh (17.5%)
水力	11.3GWh (3.2%)
風力	0.1GWh (0.0%)
バイオマス	19.9GWh (5.6%)
地熱	2.8GWh (0.8%)
LNG火力	54.4GWh (15.2%)
石炭火力	113.9GWh (31.9%)
石油等火力	14.6GWh (4.1%)
原子力	70.7GWh (19.8%)
揚水・蓄電	7.1GWh (2.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

357.3GWh

需要ピーク

15:30、1,561万kW

連系線・その他

38.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク783万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.6%だった。



2026年7月24日の供給実績

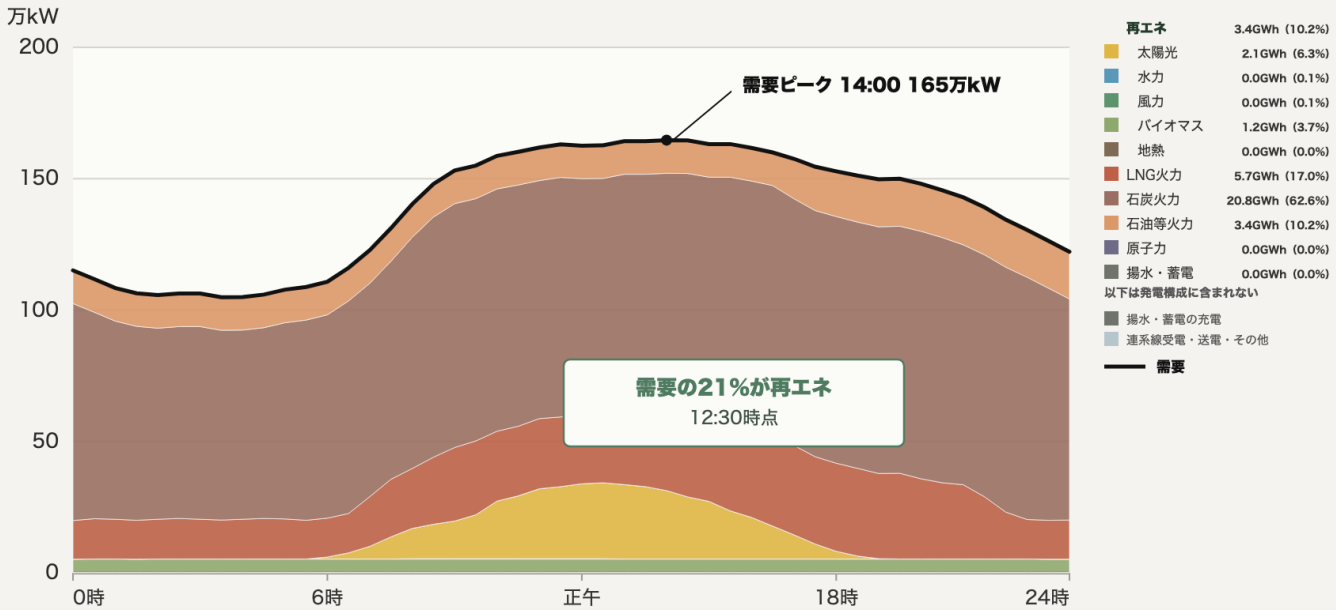
沖縄エリア

再エネ

3.4GWh

(発電電力量ベース10.2%)

沖縄エリア 2026年7月24日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

33.2GWh

需要ピーク

14:00、165万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.1%だった。